

個別施設整理番号	008-1	林道台帳索引番号	8	施設管理者	藤枝市
路線名	霜平線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	城山橋
施設の所在地	藤枝市大字瀬戸ノ谷字西宮沢	起点からの距離	0.000 km	建設年度	1987
供用年数	33	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	昭和55年道示	規格(設計荷重)	TL-14	橋下条件	滝ノ谷川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	18.00m(17.40m)		幅員(車道幅員)	5.00m(4.00m)
	施設の構造等	上部工型式	H形鋼(合成)			
			鋼製(使用鋼材)	SMA50AW他	塗装使用の有無	無
		支承型式	鋼製支承	落橋防止の有無	有	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的 利用実態等	林道霜線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年11月19日				
	調査結果	堅壁に土砂堆積、地覆に漏水・遊離石灰、防護柵に腐食、防食機能の劣化、舗装にひびわれが見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	堅壁の土砂堆積は排水不良、防護柵の腐食は経年劣化によるものと推察される。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間					
	内容					
	実施予定時期					
	施設の優先度	(優先度の考え方)				
	対策費用 (概算)					
管理 方法	管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考	
<p>○健全性の判定区分</p> <p>健全 : 道路橋の機能に支障が生じていない状態</p> <p>予防保全段階 : 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。</p> <p>早期措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。</p> <p>緊急措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。</p>	

個別施設整理番号	017-1	林道台帳索引番号	17	施設管理者	藤枝市
路線名	峠線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	びく石新橋
施設の所在地	藤枝市大字瀬戸ノ谷字広ガイト	起点からの距離	0.100 km	建設年度	1994
供用年数	26	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	平成2年道示	規格(設計荷重)	TL-20	橋下条件	瀬戸川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	34.20m(33.40m)		幅員(車道幅員)	7.20m(5.00m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	SMA490AW他	塗装使用の有無	無
		支承型式	鋼製支承	落橋防止の有無	有	
	橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的 利用実態等	林道峠線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年10月31日				
	調査結果	床版にひびわれ、下部工にひびわれ、不法占用、伸縮装置に変色・劣化、防護柵に腐食、防食機能の劣化が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	床版、下部工のひびわれは、建設時に発生した初期不良だと推察される。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間					
	内容					
	実施予定時期					
	施設の優先度	(優先度の考え方)				
	対策費用 (概算)					
管理 方法	管理方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考	
○健全性の判定区分 健全 : 道路橋の機能に支障が生じていない状態 予防保全段階 : 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。 早期措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。 緊急措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。	

個別施設整理番号	013-1	林道台帳索引番号	13	施設管理者	藤枝市
路線名	田島沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	田島沢2号橋
施設の所在地	藤枝市岡部町大字宮島	起点からの距離	1.600 km	建設年度	1971
供用年数	48	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	15.50m(15.10m)		幅員(車道幅員)	4.80m(4.00m)
	施設の構造等	上部工型式	H形鋼(不明)			
			鋼製(使用鋼材)	不明	塗装使用の有無	有
		支承型式	鋼製支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的利用実態等	林道田島沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年10月31日				
	調査結果	主桁、横桁、対傾構、支承本体に腐食、主桁の遊間異常、床版に剥離・鉄筋露出、壁に漏水・滞水、伸縮装置に路面の凹凸、防護柵に防食機能の劣化、袖擁壁に沈下・移動・傾斜が見られる。				
	健全性の診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	主桁の遊間異常、伸縮装置の凹凸は建設時に発生した施工不良、各所の腐食は地覆からの伝い水、湿気および塗装皮膜の経年劣化、袖擁壁の傾斜は基礎地盤の脆弱化によるものと推察される。				
長寿命化計画の内容	計画期間					
	内容	塗装塗替工等の補修、遊間異常の経過観察等の措置を行なう。				
	実施予定時期					
	施設の優先度	(優先度の考え方)				
	対策費用(概算)					
管理方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考	
○健全性の判定区分 健全 : 道路橋の機能に支障が生じていない状態 予防保全段階 : 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。 早期措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。 緊急措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。	

個別施設整理番号	013-2	林道台帳索引番号	13	施設管理者	藤枝市
路線名	田島沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	田島沢1号橋
施設の所在地	藤枝市岡部町大字宮島	起点からの距離	1.000km	建設年度	1972
供用年数	48年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.50m(12.10m)		幅員(車道幅員)	4.40m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	H形鋼(不明)			
			鋼製(使用鋼材)	不明	塗装使用の有無	無
		支承型式	線支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的 利用実態等	林道田島沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2020年9月16日				
	調査結果	主桁、横桁、支承部に腐食、袖擁壁に沈下・移動・傾斜、床版との衝突、欠損が見られた。				
	健全性の 診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	主桁、横桁、支承部の腐食は地覆からの伝い水、湿気および塗装皮膜の経年劣化、袖擁壁の沈下・移動・傾斜、床版との衝突は基礎部の洗堀または基礎地盤の脆弱化によるものと推察される。				
長寿命化計画の内容	計画期間					
	内容	袖擁壁天端の断面修正工、塗装塗替工等の補修が考えられる。				
	実施予定時期					
	施設の優先度	(優先度の考え方)				
	対策費用 (概算)					
管理方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考										
<p>○健全性の判定区分</p> <p>健全 : 道路橋の機能に支障が生じていない状態</p> <p>予防保全段階 : 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。</p> <p>早期措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。</p> <p>緊急措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。</p>										

個別施設整理番号	015-1	林道台帳索引番号	15	施設管理者	藤枝市
路線名	的沢線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	的沢1号橋
施設の所在地	藤枝市岡部町大字新舟	起点からの距離	0.000km	建設年度	1972
供用年数	48年	種別	鋼橋	型式	鋼H桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.44m(11.00)m		幅員(車道幅員)	4.20m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	H形鋼(不明)			
			鋼製(使用鋼材)	不明	塗装使用の有無	無
		支承型式	パッド型ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的 利用実態等	林道の沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2020年10月2日				
	調査結果	主桁、支承部に腐食、基礎に洗掘が見られた。				
	健全性の 診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	主桁・支承部の腐食は橋座面の滞水による塗装皮膜の経年劣化、橋台基礎の洗掘は大雨による増水が原因だと推察される。				
長寿命化計画の内容	計画期間					
	内容	主桁・支承部の腐食は塗装塗替工、錆を除去した段階で断面減少が顕著な場合は当て板補修工、支承本体の劣化、アンカーボルトの断面減少を伴う腐食は取替え工等の補修が考えられる。				
	実施予定時期					
	施設の優先度	(優先度の考え方)				
	対策費用 (概算)					
管理方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考										
<p>○健全性の判定区分</p> <p>健全 : 道路橋の機能に支障が生じていない状態</p> <p>予防保全段階 : 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。</p> <p>早期措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。</p> <p>緊急措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。</p>										

個別施設整理番号	001-1	林道台帳索引番号	1	施設管理者	藤枝市
路線名	高尾線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	藤枝市瀬戸ノ谷伊賀畑	起点からの距離	0.400km	建設年度	1963
供用年数	57年	種別	RC橋	型式	単純床版橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.18m(5.78m)		幅員(車道幅員)	4.05m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版橋			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	不明	基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的利用実態等	林道高尾線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	2020年9月16日				
	調査結果	舗装に舗装の異常(わだち)・土砂詰まりが見られた。				
	健全性の診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	工事用車両や重機等の通行による輪荷重の繰り返しが原因だと推察される。				
長寿命化計画の内容	計画期間					
	内容	清掃等維持管理が考えられる。				
	実施予定時期					
	施設の優先度	(優先度の考え方)				
	対策費用(概算)					
管理方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考
<p>○健全性の判定区分</p> <p>健全 : 道路橋の機能に支障が生じていない状態</p> <p>予防保全段階 : 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。</p> <p>早期措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。</p> <p>緊急措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。</p>

個別施設整理番号	001-2	林道台帳索引番号	1	施設管理者	藤枝市
路線名	高尾線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	細尾沢橋
施設の所在地	藤枝市瀬戸ノ谷伊賀畑	起点からの距離	1.000km	建設年度	1981
供用年数	39年	種別	PC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.00m(11.40m)		幅員(車道幅員)	4.80m(4.00m)
	施設の構造等	上部工型式	PCプレテンション方式床版橋			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	帯状ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的利用実態等	林道高尾線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	2020年10月3日				
	調査結果	下部構造の豎壁に鉄筋露出、地覆にうきが見られた。				
	健全性の診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	豎壁の鉄筋露出は被り不足、地覆のうきは車両等による防護柵への衝突が原因だと推察される。				
長寿命化計画の内容	計画期間					
	内容	断面修復工等の補修が考えられる。				
	実施予定時期					
	施設の優先度	(優先度の考え方)				
	対策費用(概算)					
管理方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考
<p>○健全性の判定区分</p> <p>健全 : 道路橋の機能に支障が生じていない状態</p> <p>予防保全段階 : 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。</p> <p>早期措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。</p> <p>緊急措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。</p>

個別施設整理番号	004-1	林道台帳索引番号	4	施設管理者	藤枝市
路線名	谷稲葉線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	大沢橋
施設の所在地	藤枝市谷稲葉上島	起点からの距離	0.400km	建設年度	2000
供用年数	20年	種別	鋼橋	型式	鋼鈹桁橋
道路橋示方書	平成8年道示	規格(設計荷重)	A活荷重	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.10m(15.40m)		幅員(車道幅員)	4.80m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純鈹桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	SM490AW	塗装使用の有無	無
		支承型式	パッド型ゴム支承	落橋防止の有無	有	
	橋台工型式	盛りこぼし橋台		基礎形式	場所打杭	
橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的 利用実態等	林道谷稲葉線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	2020年10月2日				
	調査結果	舗装に路面の凹凸が見られた。				
	健全性の診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	特になし。				
長寿命化計画の内容	計画期間					
	内容					
	実施予定時期					
	施設の優先度	(優先度の考え方)				
	対策費用(概算)					
管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考										
<p>○健全性の判定区分</p> <p>健全 : 道路橋の機能に支障が生じていない状態</p> <p>予防保全段階 : 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。</p> <p>早期措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。</p> <p>緊急措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。</p>										

個別施設整理番号	004-2	林道台帳索引番号	4	施設管理者	藤枝市
路線名	谷稲葉線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	舟合橋
施設の所在地	藤枝市谷稲葉上島	起点からの距離	0.500km	建設年度	2000年度
供用年数	20年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	平成8年道示	規格(設計荷重)	A活荷重	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.10m(9.50m)		幅員(車道幅員)	5.05m(3.85m)
	施設の構造等	上部工型式	H形鋼(非合成)			
			鋼製(使用鋼材)	SM400AW	塗装使用の有無	無
		橋台型式	盛りこぼし橋台		基礎形式	場所打杭
	橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える	
施設の目的 利用実態等	林道谷稲葉線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	2020年9月16日				
	調査結果	主桁に遊間の異常、支承本体に変形が見られた。				
	健全性の診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	その他の部材に損傷に損傷が確認出来ないことから、建設初期の不良だと推察される。				
長寿命化計画の内容	計画期間					
	内容	経過観察等の措置を行う。				
	実施予定時期					
	施設の優先度	(優先度の考え方)				
	対策費用(概算)					
管理方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考										
<p>○健全性の判定区分</p> <p>健全 : 道路橋の機能に支障が生じていない状態</p> <p>予防保全段階 : 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。</p> <p>早期措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。</p> <p>緊急措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。</p>										

個別施設整理番号	004-3	林道台帳索引番号	4	施設管理者	藤枝市
路線名	谷稲葉線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	二両橋
施設の所在地	藤枝市谷稲葉上島	起点からの距離	0.600km	建設年度	2000年度
供用年数	20年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	平成8年道示	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.10m(11.50m)		幅員(車道幅員)	5.02m(3.82m)
	施設の構造等	上部工型式	H形鋼(非合成)			
			鋼製(使用鋼材)	SM400AW	塗装使用の有無	無
		支承型式	パッド型ゴム支承	落橋防止の有無	有	
	橋台工型式	盛りこぼし橋台		基礎形式	場所打杭	
橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的 利用実態等	林道谷稲葉線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	2020年9月16日				
	調査結果	床版に床版ひびわれ・漏水・遊離石灰、排水管に変形・欠損、土砂詰まりが見られた。				
	健全性の診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	床版の漏水・遊離石灰は橋面防水の不良、排水管の土砂詰まりは配管の取り回しの悪さが原因だと推察される。				
長寿命化計画の内容	計画期間					
	内容	床版のひびわれ、漏水・遊離石灰は軽微であるため経過観察、排水管の欠損・土砂詰まりについては、取替え工等による補修が考えられる。				
	実施予定時期					
	施設の優先度	(優先度の考え方)				
	対策費用(概算)					
管理方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考										
<p>○健全性の判定区分</p> <p>健全 : 道路橋の機能に支障が生じていない状態</p> <p>予防保全段階 : 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。</p> <p>早期措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。</p> <p>緊急措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。</p>										

個別施設整理番号	005-1	林道台帳索引番号	5	施設管理者	藤枝市
路線名	大樽線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	藤枝市瀬戸ノ谷見行事	起点からの距離	0.800km	建設年度	1972年度
供用年数	48年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	14.00m(13.66m)		幅員(車道幅員)	4.30m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	H形鋼(不明)			
			鋼製(使用鋼材)	不明	塗装使用の有無	有
		支承型式	パッド型ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	不明	
橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的利用実態等	林道大樽線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は観光施設へのアクセス道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	2020年10月3日				
	調査結果	主桁、支障部に腐食、遊間の異常、床版に剥離・鉄筋露出、下部工躯体に隙間が見られた。予防保全の観点から補修を行う必要がある。				
	健全性の診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	主桁・支承部の腐食は湿気・滞水による塗装皮膜の経年劣化、床版、下部工の鉄筋露出は被り不足が原因だと推察される。橋台堅壁の隙間は初期不良の可能性がある。				
長寿命化計画の内容	計画期間					
	内容	断面修復工、塗装塗替工等の補修が考えられる。下部工躯体の隙間は、損傷発生から時間の経過があり、進展のおそれ小さいことから経過観察とし、状況に応じ大型車・重機の通行制限等の措置が望ましい。				
	実施予定時期					
	施設の優先度	(優先度の考え方)				
	対策費用(概算)					
管理方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考
○健全性の判定区分 健全 : 道路橋の機能に支障が生じていない状態 予防保全段階 : 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。 早期措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。 緊急措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

個別施設整理番号	007-1	林道台帳索引番号	7	施設管理者	藤枝市
路線名	大久保線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	ろんでざわ橋
施設の所在地	藤枝市瀬戸ノ谷見堂平	起点からの距離	0.000km	建設年度	1982年度
供用年数	38年	種別	PC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	13.50m(12.90m)		幅員(車道幅員)	4.80m(4.00m)
	施設の構造等	上部工型式	PCプレテンション方式床版橋			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	帯状ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的利用実態等	林道高尾線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	2020年10月2日				
	調査結果	排水管に腐食が見られた。				
	健全性の診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	経年劣化が原因だと推察される。				
長寿命化計画の内容	計画期間					
	内容	排水管の腐食については、取替え工等による補修が考えられる。				
	実施予定時期					
	施設の優先度	(優先度の考え方)				
	対策費用(概算)					
管理方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考										
<p>○健全性の判定区分</p> <p>健全 : 道路橋の機能に支障が生じていない状態</p> <p>予防保全段階 : 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。</p> <p>早期措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。</p> <p>緊急措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。</p>										

個別施設整理番号	011-1	林道台帳索引番号	11	施設管理者	藤枝市
路線名	海谷線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	藤枝市瀬戸ノ谷海谷沢	起点からの距離	0.000km	建設年度	1974年度
供用年数	46年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	14.10m(13.47m)		幅員(車道幅員)	4.20m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	H形鋼(不明)			
			鋼製(使用鋼材)	不明	塗装使用の有無	有
		支承型式	パッド型ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	不明	
橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的 利用実態等	林道海谷線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	2020年9月16日				
	調査結果	主桁・横桁・支承部・地覆に腐食が見られた。床版に剥離・鉄筋露出が見られた。				
	健全性の診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	各鋼部材の腐食は塗装の経年劣化、床版の鉄筋露出は被り不足が原因だと推察される。				
長寿命化計画の内容	計画期間					
	内容	断面修復工、塗装塗替工等の補修が考えられる。				
	実施予定時期					
	施設の優先度	(優先度の考え方)				
	対策費用(概算)					
管理方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考
○健全性の判定区分 健全 : 道路橋の機能に支障が生じていない状態 予防保全段階 : 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。 早期措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。 緊急措置段階 : 道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。